

知識基盤社会の現代において、批判的思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力、コラボレーション能力など、いわゆる汎用的能力を修得することが重要になっています。こうした能力を育成するためのアクティブラーニング型授業の一つに、PBL(Project Based Learning)などの課題解決型授業があります。基調講演に引き続き、いくつかの分野での事例紹介、および討論を通して、高等教育において課題解決型の授業をどのように導入してゆけばよいか、授業設計や実践においてどのようなことが重要になるのか、ICTをどのように活用できるのかなどの視点で、課題解決型授業のあり方を考えたいと思います。

オーガナイザ

渡辺 博芳 （帝京大学）

事例紹介

(1) 金田 徹 （関東学院大学）

機械工学分野での実践例

「関東学院大学理工学部理工学科 機械学系におけるPBL事例」

(2) 飯田 泰広 （神奈川工科大学）

バイオサイエンス分野での実践例

「提案型の「テーマ実験」と「教材開発」によるバイオ系PBL」

(3) 糸野 文洋 （日本工業大学）

情報工学分野での実践例

「現実の地域課題解決を対象としたソフトウェア開発PBL」

(4) 望月 雅光 （創価大学）

経営学分野での実践例

「企業と連携したPBL ―文系学部での実践― 」